

(関係者各位)

2020年8月7日
株式会社シノプス
代表取締役 南谷 洋志

愛工大とシノプス 産学連携の共同研究を開始 ～食品ロスに需要予測の切り口を～



愛知工業大学（愛知県豊田市、学長：後藤 泰之、以下「愛工大」）は、株式会社シノプス（本社：大阪府大阪市、代表取締役：南谷 洋志、以下「当社」）と産学連携し、共同研究を開始しました。

「New Normal 時代の食品サプライチェーンの需給調整システムの社会実装」と名付けられた本取り組みは、コロナ禍前後の小売業におけるデータの分析により、デマンドマネジメントの課題を抽出、BtoBの需給調整システム開発し、更には普及戦略の策定を目的としています。

食品サプライチェーンや食品ロスの代表的な研究者である愛工大 経営学部 経営学科 小林 富雄教授の調査に、需要予測型自動発注システムを開発するシノプスが全面的に情報提供するというもので、実際に sinops による自動発注を行う企業を対象にデータが抽出されます。

研究期間は 2021 年 3 月 31 日までを予定しており、コロナ禍という変動的な状況での需要の暴れを含んだデータが解析されることが期待できます。自動発注のための需要予測に使用していたコロナ禍前後における小売業のデータを分析することで、需要を起点として物流をとらえるデマンドマネジメントの課題を抽出、BtoB のための需給調整システムを開発し、長期的にはこれまで見えていなかった普及戦略を策定することを目指しています。

■愛知工業大学について

愛知工業大学は、1959年に中部地区初の工科系単科大学として誕生。「社会に役立つ人間の育成」という基本理念のもと、「ものづくり」を教育の柱とした実学教育を展開しています。

■株式会社シノプスについて

株式会社シノプスは、「世界中の無駄を10%削減する」をビジョンに掲げ、「われわれは在庫に関わる“人”、“もの”、“金”、“時間”、“情報”を最適化するITソリューションを提供し、限りある資源を有効活用することで、広く社会に貢献する。」という基本理念のもと、流通業向け自動発注・在庫最適化ソリューション『sinops(シノプス)』を開発・販売しているソフトウェアメーカー。

東証マザーズ上場(証券コード:4428)

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社シノプス 管理部 経営企画室

Email: ir@sinops.jp

お問い合わせフォーム: <https://www.sinops.jp/contacts>